

◇村 田 薫 君

○議長（高橋 猛君） 最初に、5番、村田 薫君の一般質問を許可いたします。村田 薫君、登壇願います。

（5番 村田 薫君 登壇）

○5番（村田 薫君） おはようございます。

通告に従いまして一般質問を行います。

六郷地区の商業中心部である米町から上鑑田を通る町道中央通り線及び上町から大町にかけての町道坪立線は地域の物流、通勤・通学を支える生活道路であり、いろいろな役割を担う幹線道路でもあります。

質問の1つ目です。グリーンベルトの設置について、朝夕の交通量の多い中、道の端を歩く学童・高齢者・障害者は安心安全の確保にグリーンベルトの設置拡大を期待しております。今後の設置の考え及び予定があるならば時期などについて伺います。

全国各地で見られるグリーンベルトは画一的なものであり、機会を捉えて町と協定をしている大学や企業または県の産業技術センターなどと連携を図り、グリーンベルト設置地帯を走行する車両のドライバーが、より一層注意と減速を意識するような心理的なものが働く新たなグリーンベルトの開発への取り組みを期待するもので、町の考えを伺います。

2つ目に入ります。資料の道路地図を参考にしてください。

質問の2つ目は安全な通学路の確保についてです。町道中央通り線はかつて死亡事故も発生しました。速度を出して走行する車両が多く、大変危険な状態であり、特に冬期間は道端に家々の入り口を確保した雪が積まれ、学童は車道を歩かざるを得ない状態であり、通学路の安全安心を図るため交通量の少ない裏通りにあたります東高方町通りや中鑑田から古町に抜ける通りに変更はできないものか。これは千畑小学校では松杉並木通りが雪や枝折れの落下による危険回避のため通学が禁止されている例に基づくものでありまして、町の考えを伺います。

○議長（高橋 猛君） 答弁を求めます。

初めに、町長、登壇願います。

（町長 松田知己君 登壇）

○町長（松田知己君） おはようございます。

ただいまのグリーンベルトの設置についてお答えいたします。

グリーンベルトはドライバーに車道と路側帯を、より明瞭に視認させるために設置するもので、交通事故を防止する効果を有するとして全国的に広く設置されてきております。議員もご承

知のとおり、町内においても平成25年度から各小学校通学路を中心に計画的に整備してるところです。

さて、議員ご質問の路線についてですが、縁石を設置しての歩道整備が困難な路線です。そのためグリーンベルトを設置する路線として位置づけ、計画的にその設置を推進していくこととしており、今年度は町道中央通り線の200メートルについて社会資本整備総合交付金を活用して整備したところです。今後の予定についてですが、町道中央通り線の残り1,560メートルについては、平成29年度までに完了する計画としているほか、町道坪立線の1,360メートルについては、平成30年度までに完了する計画としております。

次に、新たなグリーンベルト開発についてのご質問ですが、グリーンベルトの設置は先ほど申しましたとおり全国的に広く導入されてきております。その規格等については、法令の規制は受けたものではございませんが、設置に当たっては所轄警察署からご指導いただきながら実施しているところであり、そのため色合い等については自動車走行ができる路側帯をイメージした緑色系となっております。ただ、道路状況によりましてライン幅の違いはございます。こうした事情を踏まえすと美郷町のみが他自治体と異なる形状や色合いを設置することについては、通行するドライバーや歩行者にその意味合いなどについて混乱等を与えてしまう懸念もありますことから、当面は現状の形態で設置してまいりたいと存じます。ご理解をお願いいたします。以上です。

○議長（高橋 猛君） 次に、教育長の答弁を求めます。教育長、登壇願います。

（教育長 福田世喜君 登壇）

○教育長（福田世喜君） おはようございます。

2点目のご質問の六郷小学校の通学路を町道中央通り線からほかの路線に変更することについてお答えいたします。

現在、六郷小学校では登校班による集団登校を実施しており、当該路線は六郷小学校区でも主要な通学路として多くの児童が利用している状況にあります。冬期間についてですが、議員のご指摘のとおり住宅の間口を除雪した雪により歩行に支障を来す区間が一部発生する場合がありますが、中央通り線は消雪パイプが整備されており、基本的には除雪車で除雪してる路線と同等の道幅が確保できております。また、町村合併以前から主要な通学路である中央通り線は商店街であることから多くの住民が子どもたちの登下校を見守ることができており、防犯効果も期待できる通学路であります。

議員ご提案の寺町通り線、中野寺田白山線については冬期間の車両通行量は少ないものの

中央通り線に比較して住民の目が行き届きにくい箇所や西風による吹雪で見通しがきかなくなる箇所があります。また、信号機がついていない交通量の多い交差点を横断する必要も出てまいります。

六郷小学校では、以上のようなことを総合的に検討しまして交通安全・防犯両面から見てより安全であるとの判断から、年間を通して中央通り線を通学路として位置づけており、教育委員会といたしましても、その方針を尊重してまいりたいと考えております。

なお、六郷小学校における登下校の安全対策についてですが、26の町内子ども会に52班の登校班があり、担当教諭による安全指導などを徹底して行っております。今後とも児童生徒の安全対策につきましては、関係機関との連携を強化するなど重視して取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（高橋 猛君） 再質問ありますか。（「ありません」の声あり）

これで、5番、村田 薫君の一般質問を終わります。